

わかやま FUN BASE

2026年に始まった和歌山の新たな取り組み
“わかやまFUNBASE”。
人や地域の魅力を発信し、交流できる
楽しい(FUN)拠点(BASE)になるように、
本プラットフォームを通じて、
わかやまファン(愛好家)創出をめざします。

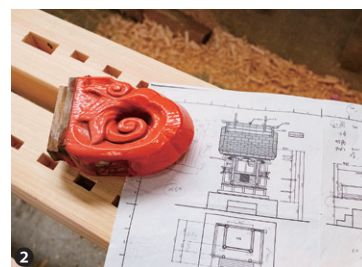


わかやまFUNBASEは
こちら



左から後さん、飽田さん、そして古民家を再生した「つなぎ間商店」を
拠点とした防災プロジェクトメンバーで設計士の沖田茂利さん。

職人が使う工具を手に技を学ぶ。
本物の体験は驚きと感動の連続！



①後さんの指導のもと、電動ドライバーを使った作業に挑戦する飽田さん。
②③企業に祀られていた小さな社の建て替え依頼にも対応する。小さくとも
伝統建築と同じ繊細な大工の技術が活かされている。

後工務店

住所／和歌山県上富田町生馬567-1 電話／0739-47-0257



①わかやまFUNBASEの前身となった取り組みに参加した大学生たち。②職人の指導のもと、カンナ掛けなど本格的な大工仕事にも挑戦。③参加者
は後工務店の職人さんが使う本物の道具を使って実際の作業を行う。



ものづくりが「つなぐ」 地域と「人」の新たな関わり

【上富田町】後(うしろ)工務店

和歌山県内で地域づくりに取り組む
む人や団体と、地域と関わりたい人
をつなぐウェブプラットフォーム「わ
かやまFUNBASE」。関係人口の
創出を目指し、2026年1月にス
タートした取り組みだ。

受け入れ団体の一つである上富田
町の後工務店では、大工仕事の見習
いインターンシップを実施している。
同社は、一般住宅の建築から寺社仏
閣の修復まで手掛ける建設会社。専
属大工を擁し、伝統の木組み技術
と近代建築を融合させた施工を行っ
てきた。

専務取締役の後(うしろ)棟見さん
は、「わかやまFUNBASEの前身と

なった取り組みの時から、県外の大
学生を受け入れてきました。それを
継続する形で今回もインターンを募
集することになりました」と話す。

今回、参加者第1号となったのは、
神奈川県出身の飽田由以さん。不動
産賃貸業を営む中、リフォームやア
パート管理での修繕に関わる技術を
身につけたいと参加を決めた。約1
週間、古民家「つなぎ間商店」のリノ
ベーション作業を実践。「最初は電動
ドライバーを触るのも怖かったほど
ですが、皆さんが基礎から丁寧に教
えてくれました」と飽田さん。教わっ
た技術を活かして「いつか和歌山でゲ
ストハウスを運営したい」と語る。

終了日には、地域住民との懇親会
も開催。普段出会う機会の少ない若
い世代や県外の人との交流は、地域
にとっても新しい刺激となっている。

後さんは「体験を通して、少しでも
大工の仕事に興味を持つ人が増え、
いつか建築に関わるきっかけになれ
ば」と。後工務店は、わかやまFUN
BASEを通してものづくりの魅力
を伝えながら、地域と人との新たな
つながりを育んでいる。